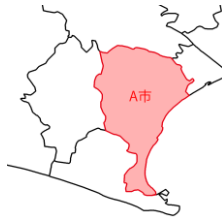
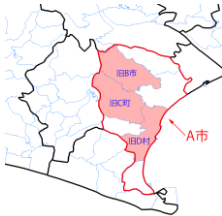




災害事例ID		2000-09-16_x_Rxxxxx_JP14205-015977-13		範囲精度 *2 A
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市 (地方公共団体コード: JP14205) 代表点座標: 35.33894, 139.491116		
災害の種類		風水害 (洪水, 大雨)		
自然現象	風水害	期間降水量: 44.5 mm, 地点: 北消防署 (平成12年9月16日 2:00 ~ 平成12年9月17日 15:00)		
発生時期	発生日	2000年9月16日 (平成12年9月16日)		
	災害の継続期間	2000年9月16日 (平成12) ~ 2000年9月17日 (平成12) (発生期間)		
被害詳細	インフラ	道路	15箇所	
出典資料	藤沢市消防本部 (2009) : 消防年報 2009年(平成21年)版, p120.			

*1 : 2013 (平成25) 年1月1日時点

災害事例ID		2000-09-16_x_Rxxxxx_JP14205-015977-13
風水害	期間降水量	44.5 mm, 地点: 北消防署 (平成12年9月16日 2:00 ~ 平成12年9月17日 15:00)

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	<p style="text-align: center;">県・地方単位</p>